

ITU-T SG16札幌会合 参加・出展報告

NICTは、2014年6月30日から7月11日の間、札幌コンベンションセンターにおいて開催されたITU-T SG16会合に参加しました。ITU-T SG16は、国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）の研究委員会で、マルチメディアに関する標準化活動を行っています。現在、三菱電機（株）の内藤悠史氏が議長を務めており、今回が日本で初めての開催となりました。本会合には、日本を含む14ヵ国から197人（リモート参加者以外）の参加があり、活発な議論がなされました。



会合の様子

また、ITU-T SG16会合の開催に合わせて、日本開催支援委員会*主催により、Workshop（7月1日）と「Cutting edge of Multimedia Technologies」をテーマとしたマルチメディアの最新技術を紹介するShowcasing（7月1～4日）も開催されました。

Workshopでは、富田二三彦NICT理事が基調講演を行うとともに、堀智織音声コミュニケーション研究室長が多言語音声翻訳に関する技術講演を行い、ご来場いただいたお客さまにNICTについてのご理解を深めていただきました。



基調講演を行う富田理事



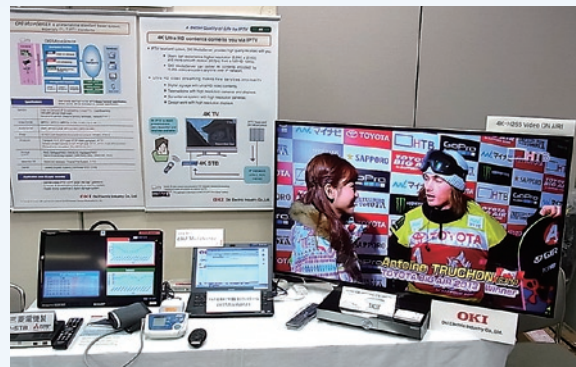
技術講演を行う堀音声コミュニケーション研究室長

Showcasingでは、ITU-T等の国際標準に関連する展示を行い、多言語音声翻訳アプリの「VoiceTra4U」、聴覚障がい者と健聴者のコミュニケーション支援アプリ「こえとら」、簡単3Dフォーマット（大域ビューと奥行）などを出展いたしました。また、沖電気工業（株）と三菱電機（株）によるNICTのJGN-Xを用いたIPTVのデモンストレーションでは、技術協力を行いました。

初日の7月1日には、上川陽子総務副大臣及び武井俊幸総務省大臣官房総括審議官にご視察いただきました。また、一般の方にもご来場いただき、「VoiceTra4U」の具体的なダウンロード方法や対応言語数などについての質問や貴重なご意見をいただいた他、その場で体験もしていただきました。テレビ放送でのニュースを見た方々も見学に訪れたことから、Showcasingには、4日間で約300名が来場し、多くの方にマルチメディアの最新技術を体感していただくことができました。



NICTブースを見学する北海道の学生



JGN-Xを活用したIPTVデモンストレーション

*日本開催支援委員会のメンバー（順不同）

総務省、NICT、三菱電機、NTT、富士通、日立製作所、NHK、沖電気工業、NEC、KDDI、ソニー、東芝、ソフトバンクモバイル、ソフトフロント、TTC、日本ITU協会